

「車いす目線から巡る金沢の旅・2018」の発行にあたり

2009年に羽咋駅、七尾駅に階段昇降機が導入されたことに伴い、施設の現状について写真撮影と取材を行い、各地の福祉まつりなどに展示を行いました。展示後、カラーコピーで10部程度、作成して友人等に配布していましたが、4年前から障害者作業所に印刷・製本を依頼して冊子として作製し、今回で4冊目になります。

2018年度は七尾駅より列車を利用して金沢駅のバリアフリーの現状について取材・撮影しました。青山彩光苑から介護タクシーを利用し、七尾駅まで向かい、介助と写真撮影協力者の谷内さんと待ち合わせをし、七尾駅で切符の購入、朝食を済ませ、改札前に自動券売機、改札口を計測しました。

今年度は「羽咋市車いす友の会“ゆうゆう”」の会員の方が応援に来てくれ、羽咋駅から乗車し、3人で金沢駅へ向かいました。事前に金沢駅へ取材協力を送ってありましたので、親切に駅員の方に案内して頂き取材が出来ました。七尾線のホーム、エレベーター、1階コンコース、北陸新幹線の中2階待合室、多目的トイレ、北陸新幹線のホームの取材活動をしました。

北陸新幹線のホームの取材後は、1階コンコースの自動券売機、あと、1階多目的トイレ、介助犬・タフィーとタフィー利用者で友人の平野さんも同行していただき、バスターミナルのバリアフリーを見て歩きました。午前中の取材を終え、金沢フォーラスで昼食をしましたが、介助犬・タフィーも入ることが出来ました。金沢フォーラスの窓から北陸新幹線の車両を見ることが出来ました。午後からは金沢周遊バスに乗車し、その後石川県立音楽堂でコーヒータイムを取り、帰りました。

七尾行きの列車の乗降口、車両内の幅や寸法を計測しました。寸法を表示することによって車いす利用者の参考になることを願っております。

取材で昨年の秋に和倉温泉観光会館で展示会にご協力を賜りました 金沢駅、七尾駅、和倉温泉観光協会、取材及び写真撮影ボランティアの方々のご協力に厚く御礼を申し上げます。また、巻末に自立生活支援センター富山が発行している機関紙「HSK遊ぼうよ」で連載中の「車いすで巡る七尾の旅」のあゆみを掲載させていただきました。

この冊子がバリアフリー社会の理解が深まることの一助となれば幸いです。皆様からのご意見・ご感想をいただければうれしく思います。

障害者支援施設「青山彩光苑」

利用者：桶屋 善一